

生命の海から

館長 山中敦子

脊椎動物は少数派?

今も売れ続けているお菓子の「どぶつビスケット」。動物のラインナップは47種類もあるそうです。犬、ネコ、あひる、ライオン、クマ、やぎ…おや、こうして見ると、食べがいのあるそつと骨付き肉ばかりですねー骨付き肉はつまり、脊椎動物のことです。環境省の資料によれば、日本の動物園の飼育動物トップ3は鳥類、哺乳類、爬虫類で、これだけで9割を占めます。動物と聞いてまず脊椎動物を思い浮かべるのも、当然かもしれません。

ところがどっこい動物界全体では、脊椎動物は小さな1グループにすぎません。最も種類が多いのは、昆虫を含む節足動物で、動物全体の種数のうち80%以上を占めています。次に多いのは貝のなかまの軟體動物で約6%。脊椎動物は5%に満たないとされています。背骨のおか



美しい薔薇の花のようなウミウシの卵と、それをとりまく菊の花びらのようなニシ貝の卵。ほんの短い期間にしか出会えない美や不思議もたくさんあります。

このように、足元の海は、進化の複雑さを私たちに教えてくれます。こんな時期だからこそ、地元の自然の素晴らしさを再発見してみませんか？

私たちの足元に広がる三河湾の中をのぞいてみれば、それはもう明らかです。まるで小枝のよくなマテガイ、ペラッペラなヒラムシ、触手を広げ花のように揺れるイソギンチャク、SFのロボットみたいなフレカラ、殻を捨てた巻貝のウミウシ。1匹2匹よりも、1本1枚1個と数えるほつがしつくりくる、姿形の多様さです。

が、脊椎動物はこの地球では決して多勢ではないのです。

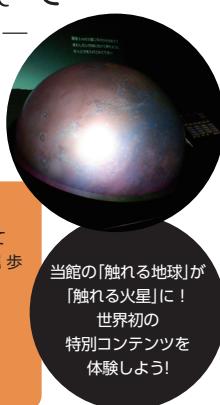
“生命の海”を探して
—火星圏探査の今・未来—開館記念オンラインイベント
YouTubeで配信中

生命の海科学館

検索

内容・講師

- 日本発!火星圏からサンプルリターン!!火星衛星探査計画MMXについて JAXA/火星衛星探査機MMXプロジェクトチーム主任研究開発員 戸梶 歩
- 宇宙農業～火星でジャガイモを作るには?～ 内閣府宇宙ビジコン S-Booster2019 ファイナリスト 株式会社TOWING代表 西田 宏平
- 「触れる火星」の紹介 生命の海科学館館長 山中 敦子



当館の「触れる地球」が
「触れる火星」に!
世界初の
特別コンテンツを
体験しよう!



ヒト口マトリビア

ストローに息を吹きジュースの中から泡がブクブク。子ども時代に一度はやって怒られた経験があると思います。人間が吐き出すブクブクは二酸化炭素ですが、シアノバクテリアという小さな生き物は酸素を吐き出します。その酸素が地球の環境を変化させました。

当館の展示室にあるストロマライトは、シアノバクテリアが海水中で少しづつ酸素を作っていた形跡が積み重なった岩石です。小さな生き物が作り上げた不思議な波状模様をぜひご覧ください。